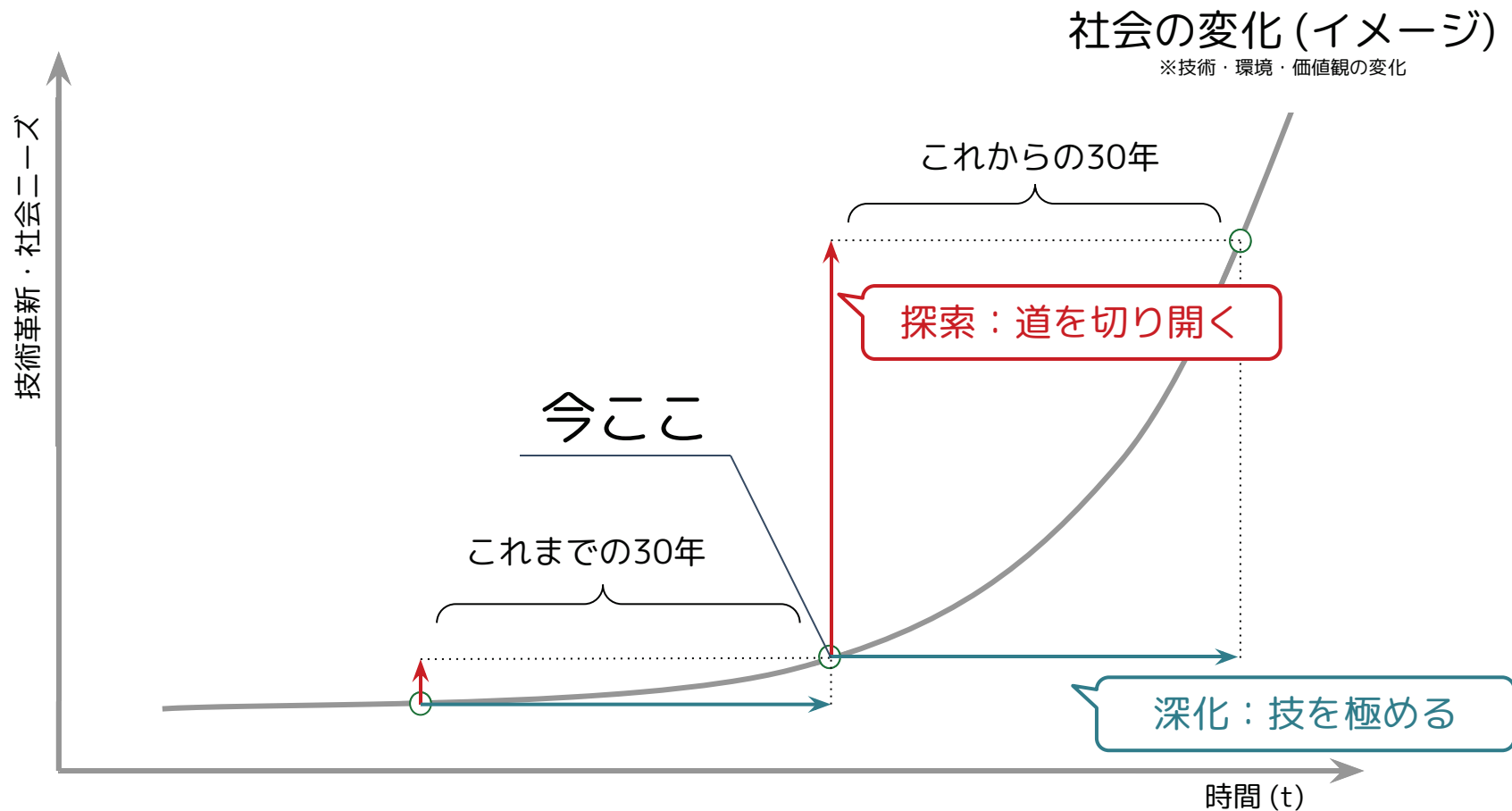


デジタル経済に関する考察 ～ 取引モデルの変化と市場の構造変革 ～

中川 郁夫, 博士 (情報理工学) / Ikuo Nakagawa, Ph.D.

株式会社ソシオラボ, 代表取締役 / 大阪大学, 招へい准教授 / 一般社団法人DeruQui, 発起人・理事
杉並区, デジタル戦略アドバイザー / 高岡市, 情報化推進アドバイザー
参議院議員勉強会BlueSky, 事務局 / Tクラウド研究会, 発起人・幹事

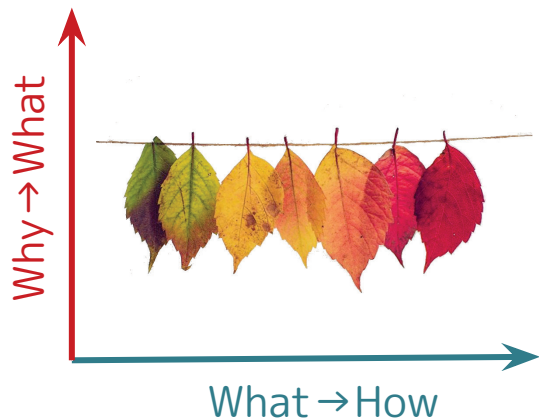
※無断転載・転用は御遠慮ください



< 探索 >

常識を超える・道を切り開く

社会はどう変わる? どうあるべき? から、進むべき道を探す
「社会×未来」 → 将来の可能性を追う & 挑戦と成長を重視



< 深化 >

知を深める・技を極める

この道は正しい! を前提に、進み方を工夫する
「事業×現在」 → 今の利益を優先 & 規律と効率を重視

経済モデルの変化
匿名市場から顕名市場へのシフト

産業構造の変化
生産と流通の視点からエコシステムの視点へ

デジタルによる「つながり」は「個客接点」のデジタル化を促す
「モノとカネの交換」だけではなく、「顕名」モデルが多様な「取引」を可能にする

匿名大衆

(お客様の情報ナシ)



顕名個客

(個客の情報アリ)



点

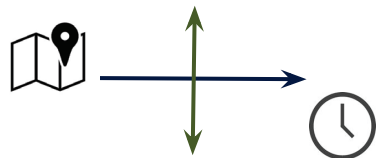
(取引＝購入)



PoS = Point of Sales

線・面

(時間、場所を考慮)



PoU = Point of Use

モノ

(販売したらおしまい)



体験

(どうやって使うか、が鍵)



原価

(作り手の事情)

価格
(提供価格)

利益

(提供者余剰)

原価

(提供コスト)

成果

(個客の価値)

余剰

(消費者余剰・個客余剰)

価格

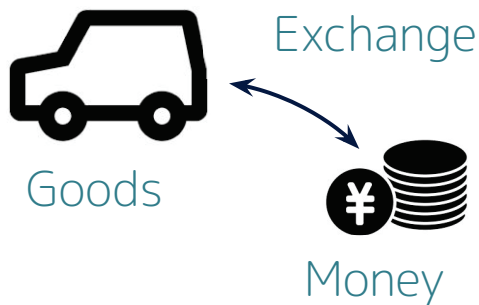
(購入価格)

価値
(個客価値)

「匿名大衆→顕名個客」への変化は「市場」の前提を変える
「交換の市場 (大量生産・大量消費のマス市場)」から「つながりの市場 (体験のパーソナライズ市場)」へ

交換の市場

財やサービスを貨幣と交換する
→ 「取引」で “ 対価を精算 ”



大量生産・大量消費
匿名大衆が対象 ～ 匿名市場

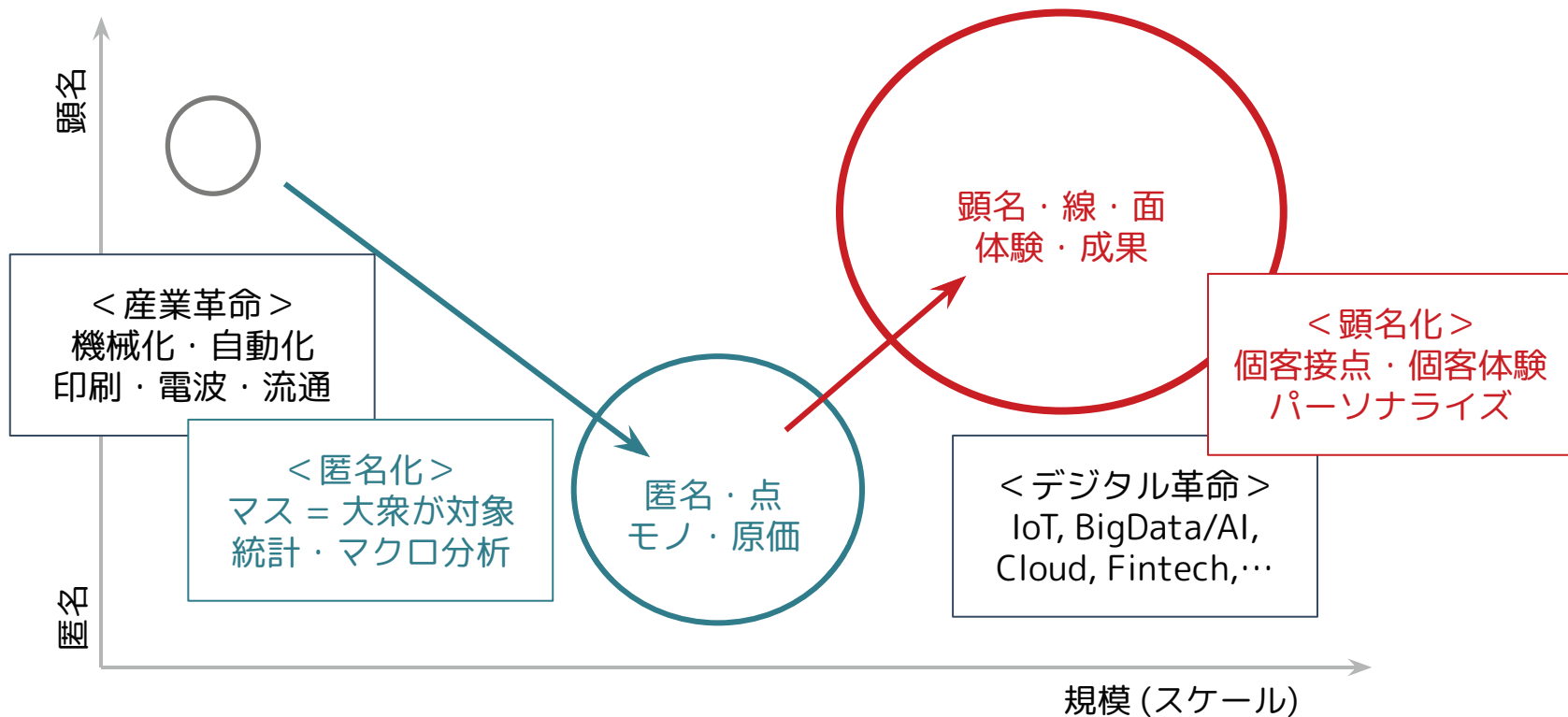
共創・つながりの市場

個客 (一人ひとり) に特別な体験を提供
→ 共創の “ 関係を更新 ”

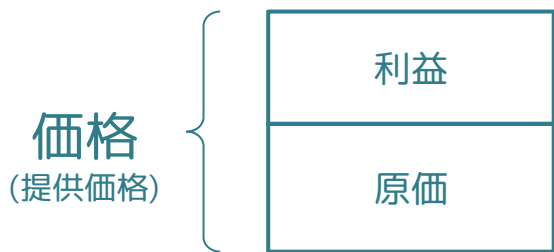


パーソナライズ前提
顕名個客が対象 ～ 顕名市場

産業革命は大量生産・大量消費の“匿名大衆”の市場を形成
デジタル革命で“規模を拡大しつつ”パーソナライズ前提の“顕名個客”の市場にシフト

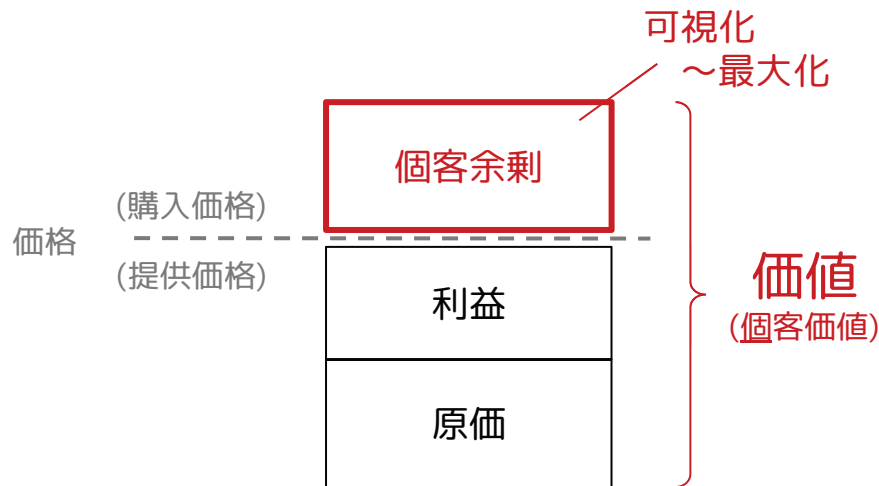


交換の市場： “モノとカネを交換”
「価格 = 原価 + 利益」



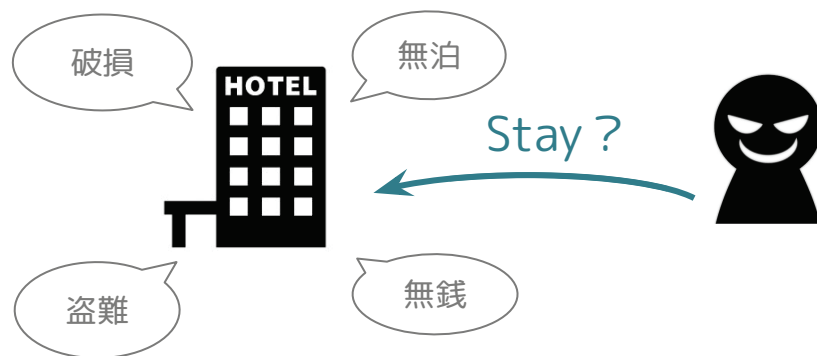
匿名市場に見られる構造：
提供者利益↑

つながりの市場： “特別な体験を提供”
「個客一人ひとりの体験 (個客価値) を最大化」



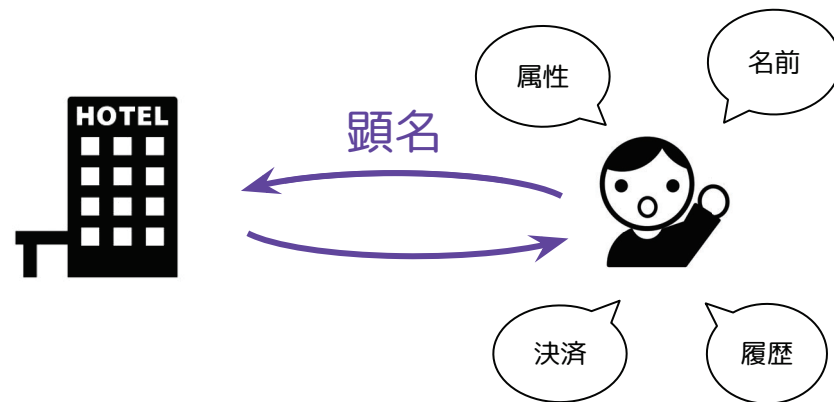
顕名市場に期待される効果：
個客満足度↑ (消費者余剰↑)

交換の市場： “ 対価の精算 ” 「財やサービスを貨幣と交換」

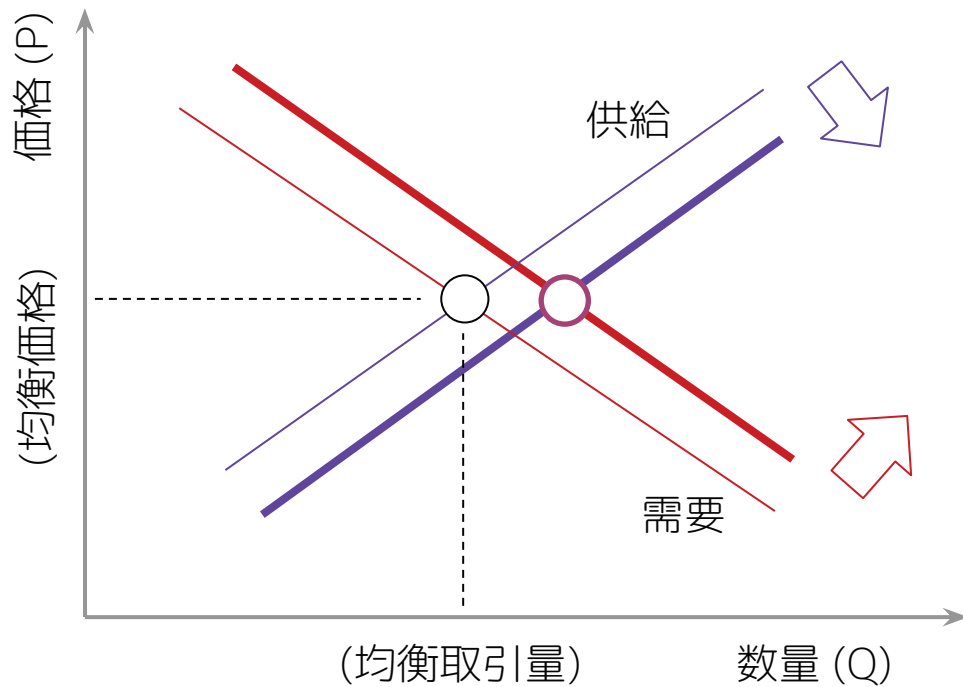


匿名取引：リスク ≧ 信用形成コスト
取引コストは大

つながりの市場： “ 関係を更新 ” 「個客との取引と信用を記録」



顕名取引：信用形成・信頼構築が大前提
取引コスト↓ (生産者余剰↑)



個客価値の最大化

⇒ 消費者余剰↑

(消費意欲↑ / 消費量↑)

取引コスト↓

⇒ 生産者余剰↑

(供給量↑ / 市場価格↓)

顕名市場の特徴

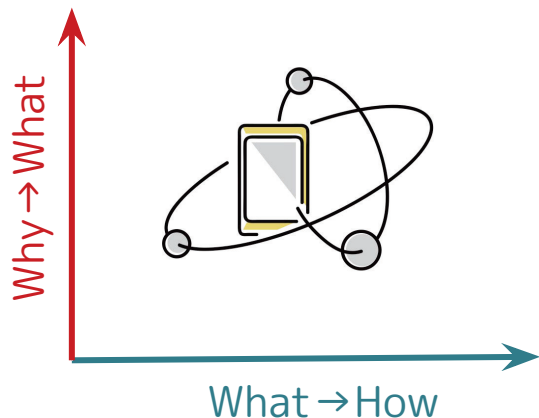
⇒ 取引量↑

(市場活性化)

⇒ 顕名市場では、経済が自律的に発展する?

関係の更新 (個客に特別な体験を提供、体験価値)

財の価値ではなく体験価値・市場インパクトを数値化？
個客接点等、関係の構築・更新が経済に寄与している度合いは？

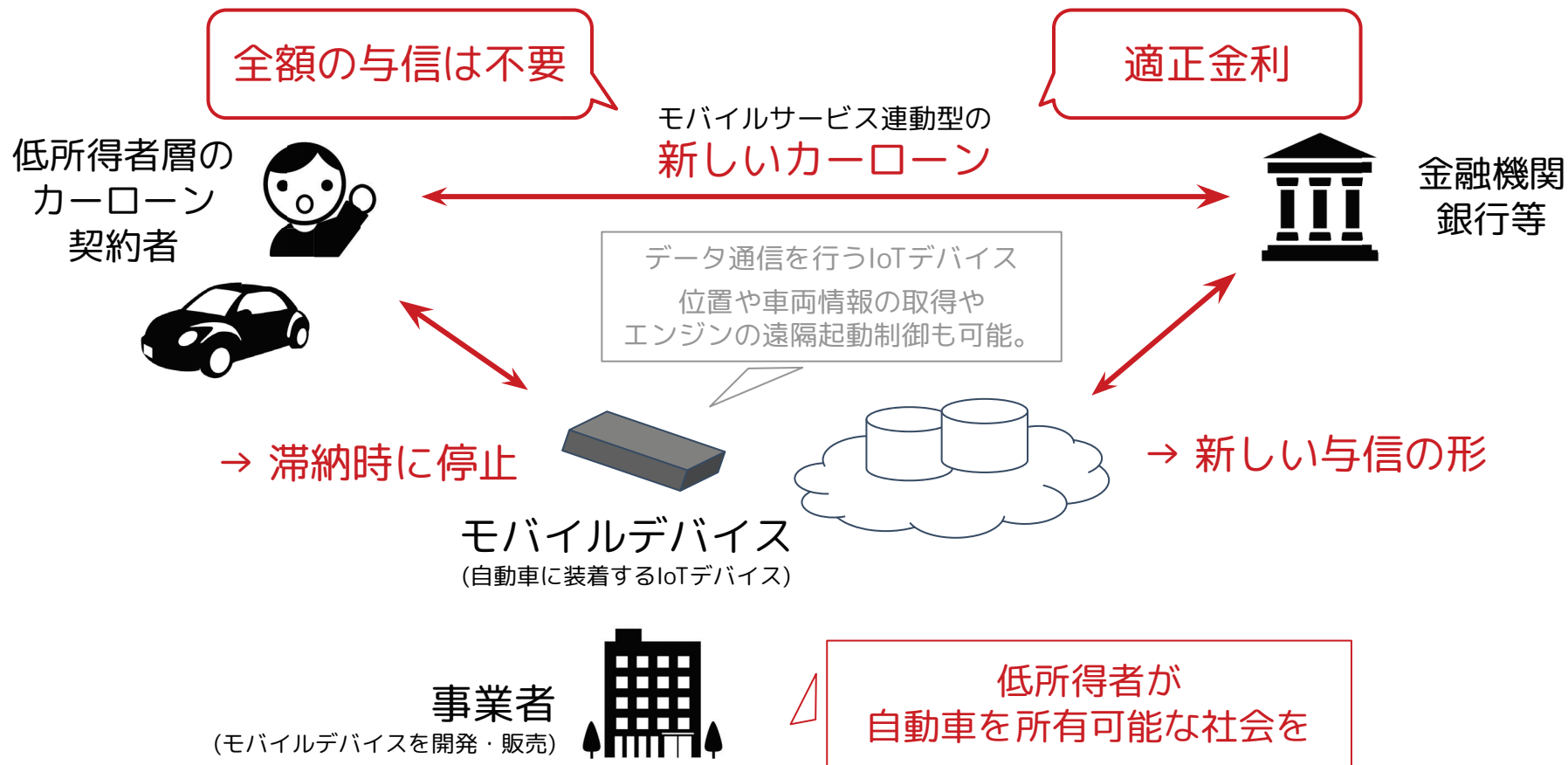


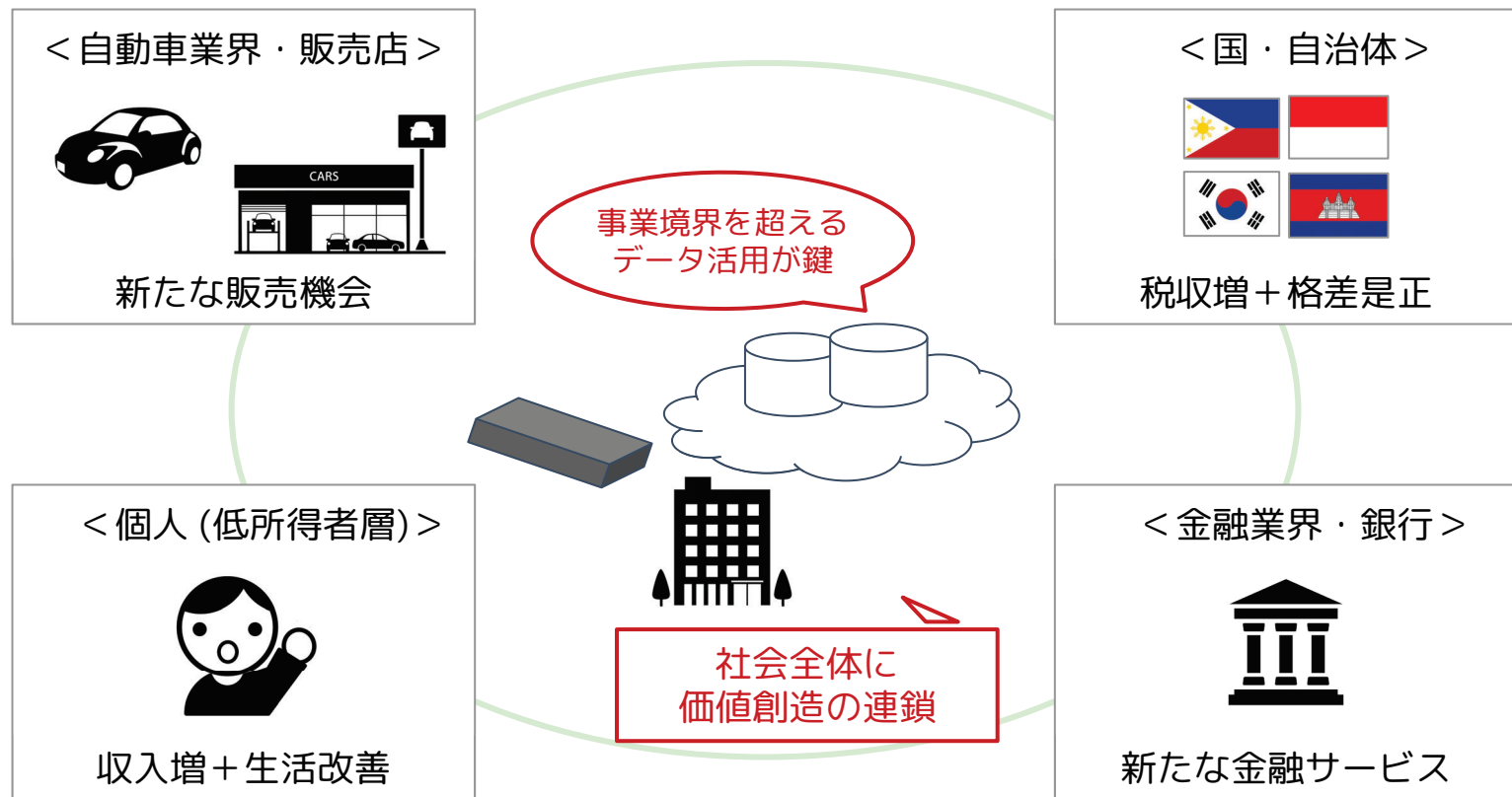
対価の精算 (モノとカネの交換、モノの価値)

デジタル上での財・サービスの提供 / デジタル財・デジタルサービス
経済の従来モデルへのデジタルの寄与度

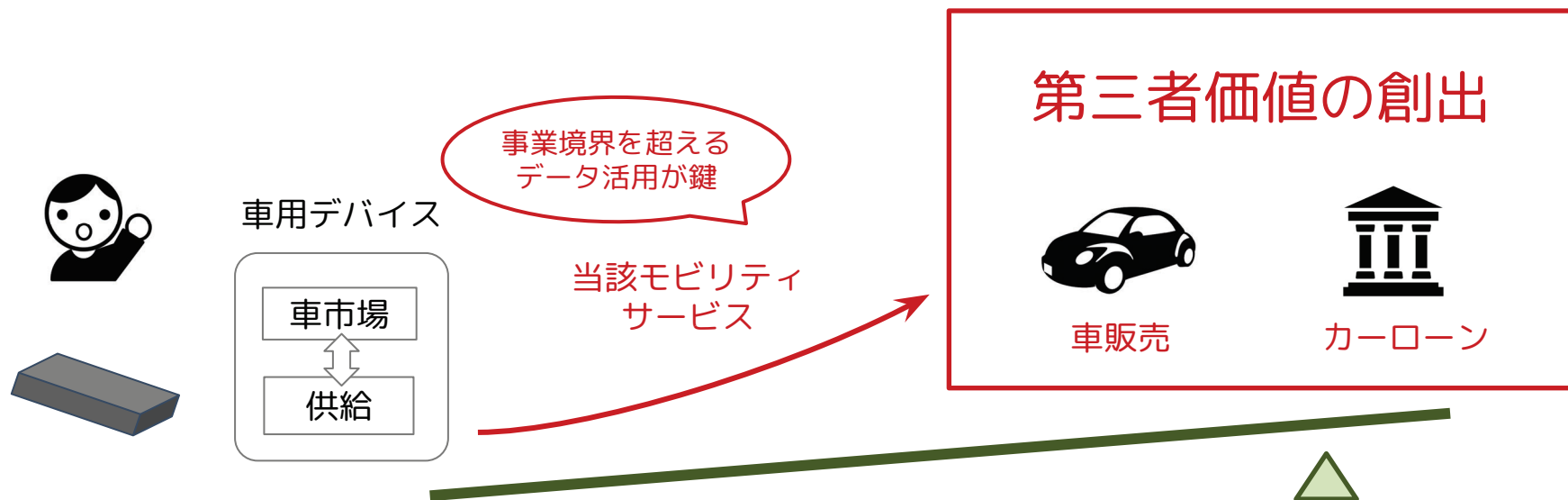
経済モデルの変化
匿名市場から顕名市場へのシフト

産業構造の変化
生産と流通の視点からエコシステムの視点へ





事業境界を超えるデータ活用が「デジタルのテコ」として機能
(関連市場規模 ≡ つながりの先にある第三者価値の大きさ)

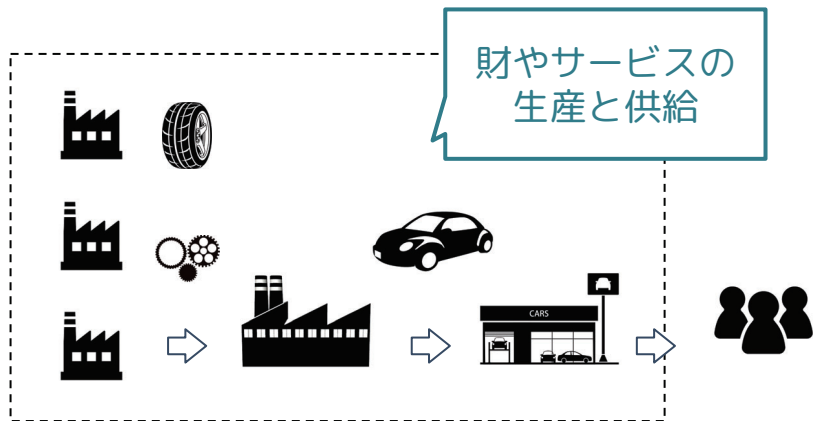


< 従来の産業構造 >

「生産と供給」の視点

交換の市場 / サプライチェーンを重視

※産業とは「財やサービスの生産と供給」の視点で
経済活動を統合したもの (総務省 統計局)

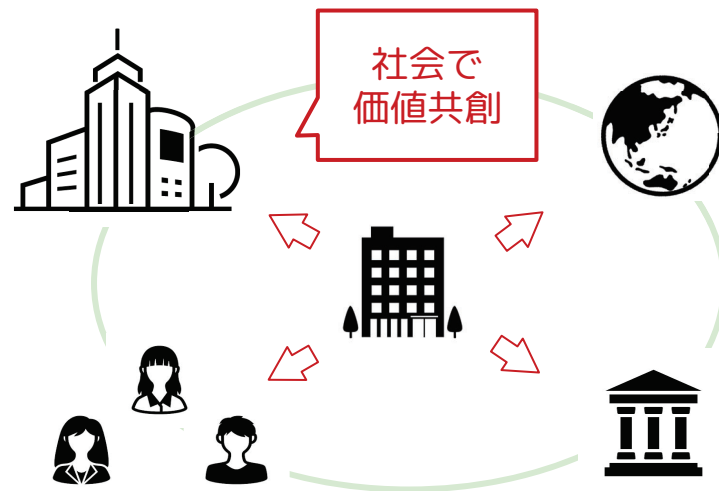


< デジタル時代はエコシステムへ >

「社会と共創」の視点

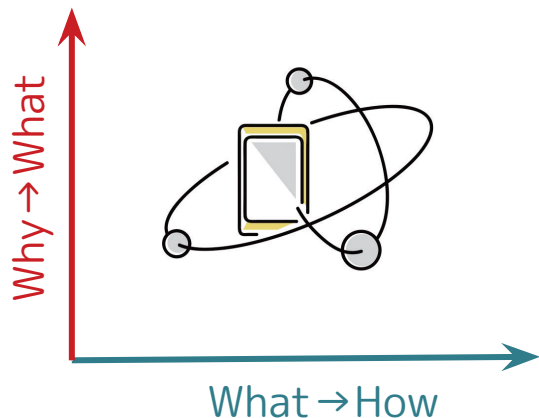
つながりの市場 / エコシステムを重視

社会やエコシステムにどう価値貢献するか
人々の生活にどんなインパクトを与えるか、が鍵



エコシステム (社会で価値共創・価値連鎖)

業界を超えるデータ活用が関係者にどんな価値を生み出したか？
企業の経済活動が社会に (お金以外の視点も含め) どう影響するか？



産業 (生産と流通の視点で経済活動を統合)

デジタル上での財・サービスの提供 / デジタル財・デジタルサービス
経済の従来モデルへのデジタルの寄与度

Fin.